



丸亀市
MARUGAME CITY

議会だより

No. 85

発行日 2021年(令和3年)5月1日
発行 丸亀市議会
編集 広報広聴委員会
TEL(24)8828
市ホームページ
<http://www.city.marugame.lg.jp/>

3月定例会
2月25日～3月25日

主な内容

- 特集 新年度予算…………… 2
- 定例会・議案の内容…………… 4
- 代表質問…………… 6
- 総括質疑……………11
- 質議・討論・決議……………17
- 委員会審査・意見書……………18
- 修正案・附帯決議……………19
- 審議結果……………20

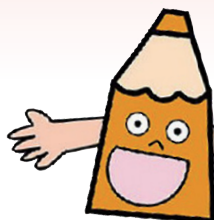


桜の木の下で元気に遊ぶ子どもたち

議会だよりは資源保護のため、再生紙を使用しています。

予算特別委員会での 論点

議長を除く全議員で、
5日間審議しました。
中から3点を紹介します。



論点 1

新市民会館の建設

- 87億円から95億円に建設費が増えている。
- 席数、規模、生涯学習や児童館機能など、意見の一致を見ていない。
- 今は市の財政や市民生活がひっ迫している。時間をかけて検討すべきではないか。

**基本設計は、議会と十分協議し、
合意を得てから
実施設計に入りたい。**

答え

旧市民会館の閉館後、4年になる。陳情や請願なども踏まえ、早期に完成させたい。

委員会
で
否決

論点 2

学校のトイレ整備

- 男女の仕切りの上部や足元が見えるトイレがある。
- 老朽化や洋式化以前に、人権感覚の問題ではないか。

**長寿命化計画とは別に、
早急に対応されたい。**

答え

学校施設の要望は、把握している。
学校とも相談しながら対応していきたい。

論点 3

新型コロナワクチンの接種開始

- 予約が始まる4月5日、供給ワクチン約1,500人分に対し、75歳以上は1万5,000人以上。
- 受け付け業務は大丈夫か。
- 4月は80歳以上に限定したり、介護従事者への接種を優先するなど、検討すべきではないか。

**ワクチン接種で現場が混乱しないよう、
業務にあたられたい。**

答え

4月15日から接種を始める。日程など詳細は、状況にあわせて検討したい。

議会から見た新年度予算

一般会計

487億円

厳しくチェック!!

市長が市政方針を表明し、
この1年の丸亀市のまちづくりが、
3月議会で決められています。



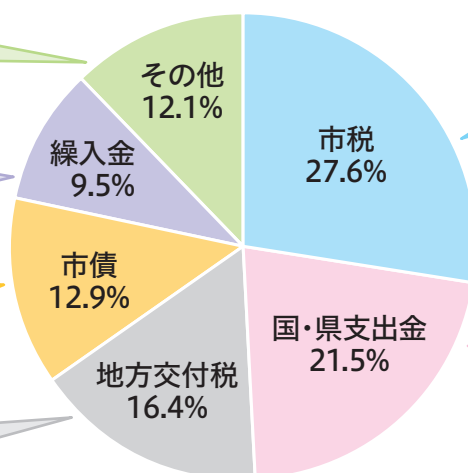
そのお金、どこから!?

住民票をもらうときの手数料や、施設の
利用料、ふるさと納税などです。

特別会計など別の財源からのお金です。

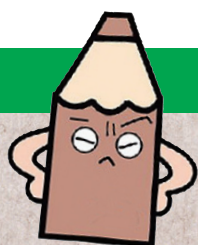
市が大きな施設や道路をつくるために、
国や銀行などから借りるお金です。

人口規模や災害などで困らないように、
国がバランスをとって交付するお金です。



市民のみなさん
からの税金です。

市が頑張っている
事業を応援する
国や県からの
お金です。



それ…一体 何に、いくら使う!?

● With コロナ事業継続応援補助金
5000万円
感染防止対策や非接触・非対面営業
の経費を市内事業者に。

● 飯山南地区の公園整備
6830万円
用地の取得や設計など。

● 電子申請の導入 83万円
県のががわ電子自治体シス
テムを活用した環境整備に。

● 公立保育所・こども園・幼稚園
ICT化推進事業 3666万円
保育業務支援システムを導入し、
保育業務を軽減。

● 地元企業PR事業
387万円
全中学校を対象に、
中学生に魅力を紹介。

● ICT支援員の配置 400万円
端末やデジタル教科書など、機器
の操作や活用方法の助言により、
児童生徒を支援。

● 市民体育館設備整備事業
3億9750万円
四国インターハイ開催に向け、空
調やトイレ・シャワー設備を改修。

3月定例会 2月25日～3月25日 (29日間)

- 2月25日
 - ・議案第1号～15号
 - Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決
 - ・議案第16号～33号
 - Ⅱ 提案理由の説明
- 3月1日
 - ・代表質問(志政会、市民クラブ、市民の声)
- 2日
 - ・代表質問(真誠会、公明党)
 - ・総括質疑
- 3、4日
 - ・総括質疑
- 8日
 - ・教育民生委員会
 - ・都市環境委員会
- 9日
 - ・総務委員会
- 10、12、15、16日
 - ・予算特別委員会
- 25日
 - ・議案第16号～33号
 - Ⅱ 委員長報告・討論・採決
 - ・議案第34号、35号
 - Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決

議案の内容

市長から、こんな提案がありました。

令和2年度関係議案

- ▼議案第1号 専決処分の承認
(一般会計補正予算(第12号))
- ▼議案第2号 一般会計補正予算(第13号)
- ▼議案第3号 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- ▼議案第4号 国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)
- ▼議案第5号 駐車場特別会計補正予算(第1号)
- ▼議案第6号 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ▼議案第7号 介護保険特別会計補正予算(第2号)

- ▼議案第8号 介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼議案第9号 下水道事業会計補正予算(第1号)
- ▼議案第10号 モーターボート競走事業会計補正予算(第4号)
- ▼議案第11号 会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ▼議案第12号 企業立地促進条例の一部改正
- ▼議案第13号 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ▼議案第14号 工事請負変更契約の締結(丸亀城常曲輪石垣解体等工事)
- 石垣解体工、石材運搬工等の増工による契約金額の増額について、議会の議決を求める(4

- 026万円増額)。
- ▼議案第15号 市道路線の認定および変更
- 城西町今津線ほか12路線を市道として認定するなど。

令和3年度関係議案

- ▼議案第16号 一般会計予算
- ▼議案第17号 国民健康保険特別会計予算
- ▼議案第18号 国民健康保険診療所特別会計予算
- ▼議案第19号 駐車場特別会計予算
- ▼議案第20号 後期高齢者医療特別会計予算
- ▼議案第21号 介護保険特別会計予算
- ▼議案第22号 介護保険サービス事業特別会計予算
- ▼議案第23号 下水道事業会計予算
- ▼議案第24号 モーターボート競走事業会計予算
- ▼議案第25号 会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- フルタイム会計年度任用職員のうち、一定の要件を満たした者の給与からの控除に関し、職員に準拠する規定を追加する。



最終決定は新しい議場で

▼議案第26号 公文書等の管理に関する条例の制定

市民共有の知的資源である公文書等の適正な管理を図るため、基本的事項を定める。

▼議案第27号 手話言語条例の制定

手話を安心して使用できる共生社会の実現を目指すことを明示した条例を制定する。

▼議案第28号 障がいのある人の情報保障及びコミュニケーション

シヨン手段の利用促進に関する条例の制定

誰もが安心して安全に暮らすことができる地域社会の実現を目的とした内容を明示した条例を制定する。

▼議案第29号 市民福祉医療費助成条例の一部改正

ひとり親家庭等医療費の助成を受けることができる者について関係法令の規定を明記し、内容を明確化する。

▼議案第30号 介護保険条例の一部改正

低所得者への介護保険料軽減措置の継続と、保険料段階の判定に用いる所得指標を見直すなど、所要の改正を行う。

▼議案第31号 コミュニティセンター条例の一部改正

飯野コミュニティセンターの改築に伴い、室名や使用料を変更する。

▼議案第32号 火災予防条例の一部改正

急速充電設備の位置、構造及び管理の基準を改めるなど、所要の改正を行う。

▼議案第33号 モーターボート競走施行に係る事務の受託に関する協議（香川県中部広域

競艇事業組合）

令和4年度までの事務の継続受託に関し、協議する。

▼議案第34号 職員の特殊勤務手当に関する条例及び国民健康保険条例の一部改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法等の改正に伴い、新型

コロナウイルス感染症の定義を改正する。

▼議案第35号 工事請負契約の締結（現市役所本館・別館他解体工事）

制限付き一般競争入札により、(株)重成土建と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。

議会の動き

1・2・3月

1月
5日 市庁舎等整備特別委員会
12日 教育民生委員会協議会
13日 各派会長会
20日 全員協議会
都市環境委員会協議会
25日 各派会長会
29日 議会運営委員会

2月
5日 総務委員会協議会
教育民生委員会協議会
市庁舎等整備特別委員会
各派会長会
17日 議会運営委員会
市民会館整備特別委員会
18日 全員協議会
25日 本会議
予算特別委員会

3月
1～3日 本会議
4日 本会議
広報広聴委員会
8日 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
都市環境委員会
9日 総務委員会
各派会長会
10～12, 15日 予算特別委員会
16日 予算特別委員会
全員協議会
議会運営委員会
25日 議会運営委員会
本会議
全員協議会
教育民生委員会協議会

代表質問

志政会

質問者

大前誠治

会派メンバー

武田 孝三・香川 勝
川田 匡文・真鍋 順穂
横田 隼人・小橋 清信
山本 直久・大前 誠治



城東小学校の整備
今後のスケジュールは

針の検討を進めている。方針決定後、できる限り早く事業

昨年3月定例会で、

平成16年の水害や、校舎、体育館などの現状、また、地域住民の意見を考慮するように附帯決議がつけられていた。

その後の方針と今後のスケジュールは。

A

教育部長 城東小学校は、長寿命化改修に係

る令和2年度予算に附帯決議がなされ、改めて判断を行うため、今年度耐力度調査を行った。その結果、校舎の大部分が改築でも国の補助対象となる建物であり、現在整備方



子どもたちの教育環境は

土器雨水幹線
分析と対策は

に着手できるよう、6月定例会に補正予算を提案したい。

宅地開発が進む今、

抜本的に考え方を変え
る必要がある。土器雨

水幹線は、3千万円を
かけて調査分析し、対

策方針を策定するが、
その方針内容は。

新しい排水路の設置

や公共施設、学校施設

地下への調整池設置な

ど、検討すべきでは。

A

都市整備部長 平成29

年の台風18号を想定し
たシミュレーションによる解

析と評価により、地域の実情
に応じた排水対策を調査、検

討し、雨水幹線の排水能力を
高めたい。

土器町東の浸水対策は、新

しい排水路の設置など、それ
ぞれ一定の効果が期待できる

が、財源も限られている。地
域にに応じ、費用対効果に優

れた最も有効な対策となる
よう検証し、対策方針を定め
たい。

新市民会館のあり方

Q

コロナのない時代に
計画された新市民会館
の建設。危機的な財政
状況のもと、建設費に
95億円をかけて進めな
ければならないのか。
計画を十分検討するた
め、一旦事業を停止す
べきでは。

A

産業文化部長 新市民
会館の建設には、市民

の負担を軽減するよう有利な
起債や補助金確保に努める。

旧市民会館の閉館後、3年以
上が経過しており、請願も提

出されている。できる限り早
期建設に努めたい。



新市民会館建設予定地

新年度の市政を問う！

市民クラブ

質問者

加藤 正員

会派メンバー

大西 浩・横川 重行
松浦 正武・加藤 正員



待機児童の現状と 保育士確保策

Q

本市は、これまで子育て環境の充実に力を入れてきたが、待機児童はゼロになるのか。そのための保育士確保策はどのようなのか。

A

教育部長 4月1日現在の待機児童がいなくても、年度途中で発生することが考えられる。引き続き、就職準備金貸付制度や市独自の人材バンクなどを有効に活用したい。潜在保育士の求人や民間園に対する賃金上乗せ補助など各種補助制度を活用し、新規の保育士確保に努めたい。また、新規採用者だけ



保育士が元気いっぱい働けるように

でなく、離職防止の観点などから、公立保育所、幼稚園やこども園に保育業務支援システムを導入し、事務の軽減、業務の効率化を図り、保護者へのサービスや保育の質の向上を図りたい。

高齢者の移動手段確保 今後の展開は

Q

現在、4つの地域で、ボランティアによる高齢者の移動手段確保支援を行っているが、この評価は。また、それを踏まえた今後の全市的展開は。

A

健康福祉部長 利用者へのアンケートでは、約9割が満足と回答している。活動範囲が広がり、自分の考えで行動できたことで生活の質の向上につながったと



ボランティア運転の今後は

快天山古墳の整備計画

Q

国の指定史跡である快天山古墳は、策定された保存活用計画に基づき事業を進めていくことになるが、初年度を含めた今後の事業内容は何。

A

教育部長 令和2年度から7年度にかけて、発掘調査を主体とした調査研究を行い、調査により前方部墳端を確定させ、残土を処理し、旧状の復元整備を目指すこととしている。その後、その成果をもとにした基本方針に基づき、整備計画を策定し、整備事業を実施したい。発掘調査時には、現地説明会など情報発信に努め、快天山古墳の価値を高めていきたい。

代表質問

市民の声

代表質問



質問者

水本 徹雄

会派メンバー

水本 徹雄・国方 功夫
片山 圭之



城東小学校 改築に向けて

Q

耐力度調査の状況と、今後の施設整備方針は。

A

教育部長 耐力度調査では、校舎の大部分を

改築しても、国の補助対象となる結果であった。教育委員会としては、教育施設としてのあり方や防災拠点として、また財政面での検証など、整備方針を検討中である。今後、庁内手続を経て、早期に方針を決定したい。

排水路、用水路の整備

Q

用水路への転落や危険性を指摘する声は多い。反射材付きのポ



転落防止を

A

ル設置など、転落防止のための対策は。産業文化部長 市内ではこの6年間で、死亡5件を含む46件の転落事故が起きている。香川県用水路

これからの 観光復興対策

等転落防止対策ガイドラインでは、注意喚起のための広報活動や啓発活動を徹底し、転落防止柵の設置や蓋かけなど積極的に講じることとなっている。市としては、排水路、用水路を管理する関係課と連携を図りながら、過去の転落箇所を再調査し、県のガイドラインに沿って対応したい。地元水利組合等が管理する用水路は、地域の実情にに応じて適切に対応したい。

Q

猪熊弦一郎現代美術館や昔の風情が残る城下町、丸亀城崩落石垣の復旧復興など、独自性のあるテーマで観光復興対策に取り組んではどうか。コロナ禍以前のにぎわいを生み出す観光戦略やビジョン、計画は。

A

産業文化部長 観光戦略プランに基づき、目指すべき将来像である「観光客と地元への参加」「共感による観光振興」の実現に向け取



丸亀城石垣復旧工事

り組んでいく。観光客の感染症対策や安心・安全の確保、観光施設・店舗等への多言語研修や接客セミナーの開催、案内板の多言語化など、危機管理やインバウンド対策の観点から、新たな取り組みとしてコロナ後を見据え、事業を進めていきたい。

また、石垣復興や猪熊弦一郎現代美術館、島嶼部や城下町観光など、本市ならではのテーマによる観光PRは、DMOなど官民一体となり、積極的に推進していきたい。

会派を代表する議員が、市長の市政方針、新年度予算、その他市政全般に関して質問を行っています。

真誠会

質問者

三宅 真弓

会派メンバー

竹田 英司・三宅 真弓
多田 光廣



保育支援システム

Q 導入システムの内容
と、他自治体での実績
評価は。

A 教育部長 保育支援システムは、現職保育士の早期辞職を防止するため、保育現場の環境改善に向けて、保育士業務のICT化を図るものである。

導入により、子どもの登降園や出欠の管理、保護者との連絡、指導計画や要録の作成など、これまで保育士が手作業で行っていたが、スマートフォンやタブレットでの処理が可能になる。

他の自治体では、計算ミスがなくなり、子どもの記録を

短時間で簡単に検索できるなど、評価されている。

地球にやさしい生き方を子どもたちに

地球環境に負荷をかけるない生き方を学ぶことは、目の前にある危



浜辺に流れ着いたプラスチックごみ

Q

うい未来を書き換える心強いツールにもなる。対症的措置とは別に、そうしたビジョンに基づく学校教育を行うべきだが、市の考えは。

A

教育部長 小・中学校では、理科や社会科、家庭科、保健体育など様々な教科で、地球環境を大切に、自分の健康や命を大切に、いくための学習をしている。また、総合的な学習の時間を使い、地域のクリーン活動などを行っている学校もある。学校での環境教育を通して、持続可能な社会を担う子ども



豊かな環境を

たちが、自分の健康や命、また地球環境を大切にすることで、資質、能力を身につけられるよう努めていきたい。

二酸化炭素排出 実質ゼロを目指して

Q 再生可能エネルギーの利用を促進し、地球温暖化防止に努めるのであれば、まずは二酸化炭素排出実質ゼロを目指す運動に積極的に参加すべきではないか。

A

市長 昨年10月、国では2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す表明があった。2月24日現在、277自治体が賛同し、ゼロカーボンシティ宣言を行っている。

SDGsの実現を基本とする本市も、市民や事業者とともに、地球環境に配慮した持続可能なまちづくりを推進するため、ゼロカーボンシティを宣言する。方向性を共有する県や県内自治体と歩調を合わせ、温室効果ガスの排出量実質ゼロに向けた取り組みを推進していく。

公明党

質問者

内田 俊英

会派メンバー

福部 正人・内田 俊英



不法投棄の防止

Q 一部の地域では、ルールを守らない不法投棄が見られる。簡易な防犯カメラは有効であるが、市として、不法投棄を防ぐための方策と、今後の計画は。

A 市民生活部長 ごみカレンダーや広報紙、ホームページなどで周知啓発を行い、不法投棄の防止に努めている。今後は外国語にも対応していきたい。

必要な箇所には立て看板を設置するほか、悪質な場合には、防犯カメラの設置なども検討する必要があると認識している。

農業用ため池
管理責任はどくに

Q 洪水による堤防決壊、子どもの転落事故、草刈りなど、維持管理上の業務でトラブルが発生した場合、その責任は誰が負うのか。また、管理責任者に対し、行政が取るべき対応は。

A 産業文化部長 維持管理上で発生したトラブルは、瑕疵の程度によるが、ため池管理者の管理責任を問われた判例がある。現在、香

川県土地改良事業団体連合会が、各土地改良区を通じて、水利組合等に対し、毎年度の管理賠償責任保険への加入促進に努めている。市では、特

に防災面から、防災重点ため池の公表や計画的な防災工事等を通じて、堤防決壊による洪水対策に取り組んでいる。多面的機能支払交付金を活用した草刈り廃棄処分費を計上するなど、管理者の負担軽減にも努めたい。

GIGAスクール構想

Q 教員、児童・生徒、家庭への周知は十分か。また、タブレットを扱う上での安全配慮、操作習熟、予備機の配備、通信環境のセキュリティ確保などに心配はないのか。

A 教育長 GIGAスクール構想は、これまで校長会等を通じて各学校へ周知してきた。

今後は現場からの声に対し、校務支援システムなどを活用して情報提供を行う。

4月以降、児童・生徒や家庭へ周知する予



子どもたちが使用する端末機

定である。端末機の使用上のルールは、市教育委員会でひな形を示し、それをもとに各学校が実態に合わせて作成する。端末機は耐久性に優れ、故障時などの保証もある。また、アクセス制限やフィルタリングを行い、個人情報の流出等には最大限配慮している。なお、使用に支障を来さないよう工夫して運用していきたい。

総括
質疑

11人の議員が市政を問う

質問者・項目 太字の項目は本文中に要約文を掲載

武田 孝三

①安心・安全な田園都市②移動手段の拡充③自治会の加入促進と資源・粗大ごみの収集

香川 勝

①人権教育②文化・芸術と生涯学習

松浦 正武

①水産業・農業②市道原田金倉線道路整備事業③用排水路の機能維持と西汐入川のごみ問題④保育士の確保と雇用・食育

国方 功夫

①市民会館②城乾こども園③城東小学校④市長、副市長の給与・退職手当⑤選挙違反の取り締まりと対策

竹田 英司

①新型コロナウイルス接種会場の充実②道の駅「讃岐富士」の整備

真鍋 順穂

①梶市政の方針と現状②農業集落排水③空き家対策

横田 隼人

①PCR検査とワクチン接種②城乾こども園③コロナ禍克服の経済対策④デジタル化

横川 重行

①消防体制②空き家対策③安全対策④公園整備⑤ごみ問題⑥学校給食

福部 正人

①マイナンバーカード②放置森林対策③緊急通報装置④光害対応の防犯灯設置⑤食品ロス⑥学校体育館のエアコン設置と学校のトイレ改修

中谷真裕美

①暮らしと営業を守るコロナ対策②市民交流活動センター③児童館

神田 泰孝

①オンライン窓口の開設②ニッカリ青江公開展示③新型コロナウイルスワクチン④市民交流活動センター⑤360度VR動画を利用した観光PR

自家用車以外の
交通手段で



武田孝三議員



市内を走るコミュニティバス

Googleが展開する関係サイトで、本市コミュニティバスの経路や時刻表、料金などを検索できるようになった。他市町でも技術的変革が見られる中、本市の将来的な取り組みも期待される。社会実装実験を踏まえた国の地方創生事業などの活用策について、市の考えは。



市長 本市でも、策定中の地域公共交通計画の基

本理念にMaasの考え方を取り入れ、普及推進を実現できるように検討してきた。国の地方創生事業などの活用策として、国土交通省での財政面、ノウハウ面での支援強化のみでなく、民間での共同事業の展開も見られ

る。先進事例を調査研究するとともに、運行事業者とも協力し、社会実装実験の活用に向けた協議を始めたい。

※Maas

自家用車以外のすべての交通手段による移動を一つのサービスとして捉え、シームレスにつながる新しい移動の概念。

地域の伝統文化 後世に継承を

Q



香川 勝 議員

無形民俗文化財として、県指定の坂本念仏踊や垂水神社湯立神楽、市指定の岡田おどりなど、先人が残してきた伝統文化芸術がある。お城まつりでも、市内各地から多くの獅子舞が集っている。これらの伝統文化芸術は、縮小させることなく、後世に残さなければならないが、市の考えは。



坂本念仏踊

A

教育部長 県指定文化財

の坂本念仏踊や垂水神社湯立神楽、市指定文化財の岡田おどりは、地域の祭りであるとともに指定文化財となっており、それぞれ保存会が組織されている。

また、映像記録を作成し、後継者の育成や町民の郷土文化

財を愛する気運を醸成したり、衣装を新調し、積極的に講演活動を行い、周知に努めるなど、後世に伝承する事業も実施している。

現在、コロナ禍で活動を自粛しているが、活動を再開した際には、市としても、可能な限り協力していきたい。

安定した収穫を 確保するには

Q



松浦正武 議員

天候に左右されず、おいしいお米を安定して収穫するため、農家は今、土づくりに注目しており、講習会などでは、各地区の土壌分析に基づいた個別指導や面談のできる体制が求められる。また、牛ふん堆肥を活用した肥料設計も見直されているが、市の取り組みは。



子どもの成長に おいしいお米を

A

産業文化部長 本市には

沿岸部、平野部、山間部など様々な条件の農地があり、土質や土壌酸度、養分の含有量などにも違いがある。地区ごとの状況把握と分析を行い、各地区の特性に合った土づくりの相談・指導体制が必要であり、農

作物の高品質化、高収量化につながるよう支援していく。

牛ふん堆肥など家畜ふん堆肥の普及には、肥料センターなどの生産供給拠点の整備が解決策の一つである。近隣市町と連携、協議し、JAに肥料センターの設置などを要望したい。

コロナ禍の今 大型事業の見直しは



国方功夫議員



大型事業とコロナ対策 優先すべきは

市民会館の建設計画は見直すべきではないか。必要な施設であるが、新型コロナウイルス感染症拡大前の計画であり、その後の財政状況などを考えると、一旦休止すべきである。建設場所や費用など再考を求めるが、市の見解は。



産業文化部長 新市民会館の建設地は、当時の市庁舎及び市民会館整備等特別委員会に諮り、大手町地区4街区再編整備構想の中で決定した。

四国財務局や高松国税局とも協議を重ね、市民や議会の皆様にも意見を伺いながら、スケジュール、建設地ともに理解を得たものと認識している。

市の財政は、新型コロナウイルス

ルスの影響により、市税の大幅な減収も想定され、事業の選択が求められる厳しい状況にあるが、今後とも有利な起債や補助金確保に最大限努力していきたい。

旧市民会館の閉館後、3年以上経過し、請願の提出などもあった。この空白期間を埋めるべく、できる限り早期に建設を進めていきたい。

新型コロナワクチン 接種への配慮は



竹田英司議員



4月15日からワクチン接種が始まりました

新型コロナワクチンの接種が始まるが、年齢や体調面の不安から、一人で会場まで移動することが難しい市民に配慮されているのか。高齢者移動支援事業を利用し、臨時的に送迎してはどうか。



健康福祉部長 生活圏域内で接種できるように、

市内小学校を接種会場の一つとする予定である。巡回ではあるが、校区外の方も対象としたい。会場までの移動手段として、高齢者移動手段確保事業の活用

は可能であるが、地域ごとの事業設計により、想定の利用回数もあり、全員を送迎することは難しいのではないかと。全員がより効率的で速やかにワクチンを接種できるよう、柔軟かつ迅速に体制を構築していく。

中心市街地と まちづくり

Q



真鍋順穂議員



まちの新しい中心地づくりを

大手町4街区を含む中心市街地の再編は、丸亀市の浮沈をかけた必須の都市計画事業である。市民、また議員の一人として、幾度となく提言も行い、市の賛同を得たはずである。しかし、いまだにペーパーロケーションの域にも届いていない。この4街区の再編は、中心市街地、シビックセンター・コアの位置づけとまちづくり、立地適正化、マスタープランなどの計画に基づいて進めるべきではないか。



A

市長 大手町地区4街区の再編整備事業は、

最重要施策の一大プロジェクトと位置づけ、都市計画マスタープランなど都市計画の方針に沿うよう取り組んでいる。

まちの顔を変え、本市の発展、市街地全体の再生に直結する重要な事業である。

将来を見据え、都市計画の視点から着実に進めていきたい。

新設こども園 今の実情は

Q



横田隼人議員



西幼稚園

こども未来計画に基づき、城乾こども園が整備されようとしている。計画上の想定0歳児895人に対し、実際は出生数7.5%減となり、3.5%の国平均と比較しても大きく減少している。保育施設の新設基準は、実際の数値に近いものであるべきだが、市の考えは。



A

健康福祉部長 第2期こ

ども未来計画中の人口推移は、コホートセンサス変率法により算出した推計値であり、昨年4月1日現在の0歳児の人口は895人と推計している。住民基本台帳に基づく0歳

児（対象は、一昨年4月2日から昨年4月1日に生まれた子ども）は823人で、計画と比べて70人ほど減少した。

今後、令和2年度、3年度の実績を踏まえ、令和4年度に計画の中間見直しを予定している。

消防・救急体制 現状で十分か

Q



横川重行議員

市民の命と財産を守るため、充実した消防力が求められている。火災や緊急時の対応として、郡家分署の待機要員を、現在の4人体制から少なくとも6人体制に増やすべきではないか。



北消防署郡家分署

A

消防長 北消防署では、郡家小学校あたりまで、南消防署では川西町南、垂水町まで所管している。

郡家分署の救急隊が出動中に別の災害事案が発生した場合、他の署からの出動で対応できる状況である。郡家分署管内の救急件数は、平成30年の1日平均が2・5件、火災と救急事案の

同時発生は、平成30年までの3年間ではなかった。

北消防署の業務は多岐にわたっており、救急の出動件数も市全体の約6割、1日平均8件を超える状況であるため、増員が必要であると判断し、人員の配置を変更した。

市全体を総合的に判断したものである。

学校のトイレ 整備を速やかに

Q



福部正人議員

家庭と学校を比べると、和式や経年劣化などトイレ環境の差が大きい。文部科学省では、学校施設全体の環境向上や機能改善につながる改修効果がある場所として、トイレを捉えている。学校施設長寿命化計画の見直しの中で、トイレの改修を先行できないか。また、多目的トイレのユニバーサルシート設置はどうか。



トイレの環境改善は

A

教育部長 国の3次補正予算の中で、学校施設のトイレ洋式化改修が補助対象となり、洋式化率の低い東中学校の女子トイレを一部改修する費用を今議会に提案した。

今後とも、国の財源を効果的に活用し、トイレの一部洋式化など環境改善を行っていく。ま

た、学校施設長寿命化計画に基づき改修などを行い、学校環境の向上に努めていきたい。

学校の多目的トイレへのユニバーサルシート設置は、今後、長寿命化改修を行う場合に、学校や地域、関係各部署と協議し、必要な整備を行いたい。

マルタス指定管理料 情報開示を

Q



中谷真裕美議員



市民活動の拠点「マルタス」

市民交流活動センター「マルタス」の指定管理料は、年間1億3千万円であるが、光熱水費や人件費が実績に基づき精算されるため、増額になる可能性もある。市民の税金であり、指定管理料の用途は、非開示ではなく、公開すべきではないか。



A

市民生活部長 開館後2

年は、光熱水費の実績がなく見込額の設定が難しいため、実績に基づいて精算を行うことにしている。その実績を基準として、3年目以降の指定管

理料を確定したい。

マルタスに関する指定管理料の用途について情報公開請求がされた場合には、本市情報公開条例のほか関係法令にのっとり、適正に対処したい。

入所受け付け オンライン窓口併設は

Q



神田泰孝議員



オンライン窓口の併設は

今年度、保育施設等への入所受け付けは、期間を21日間に延長し、小学校区ごとに実施された。申請時に子どもを連れ、長時間拘束される保護者の負担、コロナやインフルエンザなどウイルス感染リスクのさらなる軽減を図り、オンライン窓口を併設してはどうか。



A

教育部長 オンライン窓

口の併設は、申請者の負担や感染リスクを軽減する取り組みである。

しかし、個人番号の取り扱いや本人確認の方法、申請書の不備等への対応など、解決すべき

課題も多いため、マイナポータルや国の子育てワンストップサービスを活用した電子申請を早急に検討したい。今後、想定される情報政策課とも連携して課題を解決していきたい。

令和2年度関係議案

質疑

Q 横田議員 キャッシュレス決済ポイント還元事業

は、開始時期を早め、還元率を上げないのか。また、市民への周知方法は。

A 産業文化部長 事業の開始は、KAGAWA GO To Eat キャンペーンが終了した7月を予定している。高齢者への新型コロナワクチン接種が進み、より安心した気持ちで、より効果的な経済活動となることを期待している。

還元率は、十分な消費喚起を見込める率として、費用対効果等から設定した。開始前から市の広報、ホームページ、各店舗へのポスター掲示などで周知していく。

Q 中谷議員 介護施設等従事者へのPCR検査は、

本市独自の取り組みとして期待する。今後、プール方式など効果的な検査方法が確立すれば、対象を拡充できるが、見直しは。

A 健康福祉部長 この事業は、県の事業に引き続

き、ワクチン接種までの間、実施するものである。現在、対象

令和3年度関係議案

質疑

Q 国方議員 解体専門業者が入札に参加していない。

市内業者が広く入札に参加できるようにするべきでは。

A 都市整備部長 地域経済の活性化や市内業者の育成は大切である。総合評価落札方式を含め、よりよい発注方法となるよう関係部署と協議し、研究していく。

討論

《反対》 国方 功夫

議案第35号 工事請負契約の締結

理由 多くの業者が参加できるように、入札制度を検討すべき。

《反対》 中谷真裕美

議案第16号 一般会計予算

理由 指定管理、委託業務やマ

者の拡大や期間の延伸等は考えていないが、県内の感染状況やPCR検査の状況等を踏まえ、その継続性を検討したい。

イナポイント事業費など。指定管理のあり方として情報開示や、図書館・ごみ収集の委託業

務の必要性を見直すべき。マイナポイント事業は、情報漏えい等の対策を優先すべき。

議案第24号 モーターボート競走事業会計予算

理由 電話投票やインターネット投票により売り上げが伸びているが、若年層のギャンブル依存が懸念される。

決議案第2号 可決

議員の政治倫理に関する決議

私たち議員は、市民からの負託を受け、意見や要望を市政に届け、課題や問題を指摘し、解決を促すなど、多大な役割を担っている。

理事者においても、時代に即応する中で、法令等に基づく適切な執行と併せて、人権擁護に遺憾なきよう措置を講じなければならない。

常日頃、市民の代表として、その責任と良心に基づいて政治活動はもちろんのこと、日常生活においても、市民の信頼を裏切ることのないよう努めなければならない。

本市議会では、今後とも市民から厚い信頼を得られるよう、議会基本条例の趣旨を再確認し、私たちが目指す理想の実現に向け、一層注力するものである。

以上、決議する。

令和3年3月25日

丸亀市議会

委員会審査

各委員会の議案審査では、次のような質疑応答がありました。



委員会
見
査
書

教育民生委員会

■審査した議案

議案第27号～30号

主な質疑

Q 委員 「手話言語条例」と「障がいのある人の情報保障及びコミュニケーション手段の利用促進に関する条例」制定後の取り組みは。

A 健康福祉部 講座の開講などを通じて、手話通訳者を育成していきたい。

Q 委員 市民福祉医療費の助成にあたっては、事実婚の把握など、対象者をどのように調査するのか。

A 健康福祉部 対象者の調査は難しいが、受給者への聞き取り、家庭訪問や通報などにより状況を確認したい。

審査結果

原案可決

都市環境委員会

■審査した議案

議案第31号

主な質疑

Q 委員 飯野コミュニティセンターの室名変更に関し、他のセンターとの統一性は。

A 市民生活部 使用の用途・目的や地域の意見を聞き、室名を決定している。今後の条例改正時には、統一できるようにしたい。

審査結果

原案可決

総務委員会

■審査した議案

議案第25号、26号、32号、33号

主な質疑

Q 委員 消防自動車の電気自動車化は。

A 消防本部 消防自動車など特殊車両は、一般的な電気自動車の普及後と考えている。

Q 委員 これまでに中部広域競艇事業組合に配分した金額と、今年度の配分額は。

A ボートレース事業局 昭和43年度以降、53年間で94億円を配分している。令和2年度は、2月末時点で約1億2千3百万円である。

審査結果

原案可決

意見書案第1号 可決・提出

地域手当の見直しを求める意見書

地域手当のあり方について、国へ意見書を提出しました。

国は、賃金構造基本統計調査による賃金指数を基礎として、診療報酬、介護報酬、保育所等の公定価格などに用いられる地域手当の支給割合を決定しているが、社会経済環境や生活実態が近隣自治体と大きな差異がないにもかかわらず、支給とならない地域が見られるなど、制度に疑問を感じる。

今後の市民生活に及ぼす影響等を考えると、様々な分野で人材流出など憂慮するものであり、早急に見直しを図るよう、強く要望する。

一般会計予算修正案可決

定例会最終日に審議され、賛成多数で可決しました。

討論

《反対》

中谷真裕美

理由 市民会館の建設に関する予算は一旦削除し、コロナ対策を優先して行うべき。

《反対》

横川 重行

理由 これまでの車座集会や市民会館整備特別委員会での協議

《賛成》

横田 隼人

を軽視すべきでない。

理由 市民会館の建設中止ではなく、児童館や生涯学習機能の存続を目的とする修正案である。

なお、この修正案に関する賛否についてはP20「賛否が分かれた議案の審議結果」をご覧ください。

歳 出	
庁舎南館改修等事業費	▲1億4044万円
（内訳）役 務 費	▲4万円
委 託 料	▲610万円
工事請負費	▲1億3430万円
生涯学習センター解体事業費	▲7200万円
（内訳）工事請負費	▲7200万円
予 備 費	2億1244万円
歳 入	
財政調整基金繰入金	2億1244万円
大手町地区公共施設再編整備基金繰入金	▲1億4764万円
市 債	▲6480万円
債務負担行為	
生涯学習センター解体事業	▲2億8800万円
地 方 債	
社会教育施設整備事業	▲6480万円

決議案第1号 可決

一般会計予算に対する附帯決議

今日、新型コロナウイルス感染症の影響による社会・経済状況や市民生活の現状に鑑みると、同事業に対する市民の理解は十分であるとは言いがたく、予算審議を通じた議論においても、施設の機能面をはじめ席数や規模、また建設費用、管理経費など課題も指摘され、意見の一致を見えない状況である。

よって、新市民会館については、現在、基本設計から実設計に至る段階ではあるが、今後、さらに慎重に議論を重ね、整備のあり方について結論を見出すべきである。

併せて、その整備方針が固まるまで、庁舎南館改修等事業費並びに生涯学習センター解体事業費に関しては、当該予算の計上を見合わすよう強く求めるものである。

今後の施設整備に当たっては、禍根を残さないよう慎重を期さなければならない。現

在の生涯学習センターは、生涯学習機能と児童館機能を合わせ持つ施設であり、そのあり方は本市の将来を大きく左右すると言っても過言ではない。長年の課題である丸亀港から丸亀城に至る中心市街地など、まちの活性化に資する施策を講じる中で、具体的な方向性や整備方針を明確にし、早急に示すべきである。



生涯学習センター

令和3年3月定例会

賛否が分かれた議案の審議結果

議 案 名		議 員 名 ()内は所属会派	審議結果	1 武田	2 竹田	3 東	4 中谷真裕美(会派無所属)	5 神田	6 岡田	7 大西	8 香川	9 三宅	10 川田	11 真鍋	13 多田	14 横田	15 小橋	16 横川	17 松浦	18 加藤	19 山本	20 大前	21 福部	22 内田	23 水本	24 国方	25 片山	
				孝三(志政会)	英司(真誠会)	由美(会派無所属)	泰孝(会派無所属)	剛(会派無所属)	浩(市民クラブ)	勝(志政会)	真弓(真誠会)	匡文(志政会)	順穂(志政会)	光廣(真誠会)	隼人(志政会)	清信(志政会)	重行(市民クラブ)	正武(市民クラブ)	正員(市民クラブ)	直久(志政会)	誠治(志政会)	正人(公明党)	俊英(公明党)	徹雄(市民の声)	功夫(市民の声)	圭之(市民の声)		
議 案 第16号	令和3年度一般会計予算(修正案)	可 決	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	議長のため採決に参加せず	○	×	×	○	○	○	
	同 上(修正部分を除く原案)	可 決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
議 案 第24号	令和3年度モーターボート競走事業会計予算	可 決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
議 案 第35号	工事請負契約の締結について(現市役所本館・別館他解体工事)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	×

○は賛成、×は反対した者です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

傍聴席から見た議場



みなさん、傍聴に来てくださーい。

編集後記

今を去ること16年前。初めての丸亀市議会議場でビックリしたのは、傍聴席入り口近くに掲げられていた『傍聴規則』。

「傍聴席に入ることのできない者」として挙げられていたのは…

●鈍器その他人に危害を加える恐れのあるものを携帯している者(それはそうでしょう。)

●異様な服装をしている者(『異様』の基準は何かなあ?)

●児童及び乳幼児…ただし、引率者または保護者と共にあり、議長の許可を得た場合は、この限りではない。(エー子ども連れはいちいち議長の許可がいるんですか!?)

この古式蒼然とした傍聴規則の看板は、その後、開かれた市議会を指す議会改革の手始めに撤去されました。このたび、新しくなった議場には、「親子室」があります。声を気にせず傍聴できますので、小さい子どもさんを連れた方も、どうぞ心配なさらず、おいでください! 大歓迎です。隔世の感がある新しい市議会議場。私たち議員も、常に意識を新たにしなければと思っています。

広報広聴委員 中谷真裕美